

令和5年度

専攻科

シラバス

生産から流通・販売まで
アグリビジネスの実際を学ぶ

専門学校山梨県立農林大学校
〒408-0021

山梨県北杜市長坂町長坂上条3251

TEL 0551-32-2269

FAX 0551-32-2034

令和5年度専攻科シラバス 目次

専攻科1年

教 養 生産技術

数学	1
果樹栽培概論	2
醸造用ブドウ栽培論(1)	3
新品種特性	4
地域先進技術(1)	5
植物栄養生理	6
植物増殖(1)	7
植物生長調節	8
病害虫防除(1)	9
土壌肥料(1)	10
環境保全型農業(1)	11
農業施策	12
農業法規(1)	13
先端技術実習(1)	14
経営管理		
農産物流通販売	15
マーケティング	16
法人経営論	17
アグリビジネスの実際		
アグリビジネス論Ⅰ	18
農業法人派遣研修	19
卒業研究		
起業理念	20

専攻科2年

教 養 生産技術

社会学	21
果樹栽培各論Ⅰ	22
果樹栽培各論Ⅱ	23
果樹栽培各論Ⅲ	24
醸造用ブドウ栽培論(2)	25
地域先進技術(2)	26
植物増殖(2)	27
病害虫防除(2)	28
土壌肥料(2)	29
環境保全型農業(2)	30
農業法規(2)	31
先端技術実習(2)	32
経営管理		
販売促進	33
農業経営分析	34
アグリビジネスの実際		
アグリビジネス論Ⅱ	35
異業種派遣研修	36
卒業研究		
ビジネスプラン	37

科目名	農産物流通販売 講義	単位数	2	時間	30
対象学生	専攻科 1年	担当者	清水 靖 元農業大学校長 元専門技術員(花)		
ねらい	市場流通を中心とした流通の現状と今後の動向について、基礎的事項や最近の流通事項、変化を学習する。				
到達目標	TPP導入など世界市場がグローバル化する中、多様化する農産物の流通販売の実態や今後の流通のあり方・課題等を検討・研究検証する。				

回数	授業計画
1	①現代の食生活変化と農産物流通機構の変化 ②青果物流通システムの現状と課題
2	①青果物流通システム(市場流通と市場外流通と商品特性等) ②農産物の各種流通システムと形態と内容
3	①卸売市場の仕組みと機構、卸売市場の種類と規制する法律、中央卸売市場と地方卸売市場 ②卸売市場の流通経路と物流・卸売市場の機能<集荷、分荷、価格形成等>・卸売業者の定義と業務、扱い規模等
4	①卸売市場及び市場外流通の年次別取扱量推移 ②卸売市場の流通諸機能<商的流通機能・物流的機能・情報流通機能等> ③青果物の流通段階別価格構成比・青果物の生産者経費と生産者受取価格等
5	①卸売市場を中心とした農産物基本ルートと最近の物流ルートの多様化 ②農産物流通の多様化と卸売市場流通の衰退原因 ③卸売市場における青果物の価格形成
6	①日本と米国の流通価格形成とその違い ②市場流通問題の特質と制度改革方策 ③価格形成の種類とその概要
7	①価格形成の種類 ②卸売市場における取り引き等処理システム ③卸売市場における青果情報システム構築経過 ④ベジフルシステムを中心とした青果情報伝達システム
8	①ベジフルシステムの基本的仕組みと参加団体 ②ベジフルシステムの課題と問題点
9	①日本農業の現状と農産物流通 ②農産物流通の現状と地産地消の動向 ③市場外流通の興隆と食品の安全性問題 ④地産地消の追い風を受けた農産物直売所興隆
10	①地産地消と農産物直売所の課題と問題点 ②農産物直売所IT化とその現状
11	①農産物流通から見た「地産地消」の位置づけ、最近の農産物流通、青果物の商品の特徴、卸売市場低迷化の原因と課題、最近の物流と消費者－生産者意識の変化
12	①地産地消の具体的事例 ②農産物直売所 ③産地直送 ④農協主体によるインショップの開設(JA甘楽富岡等)
13	①地産地消の興隆背景と方策、日本食品安全性神話が崩壊した食品事件の多発、生産者－消費者間の信頼性の構築、農産物のブランド化と差別化の推進
14	①地産地消と「安全・安心」 ②生産者－消費者の信頼性意識構築コミュニケーションツールとしてのトレーサビリティシステム ③トレーサビリティシステムの必要性 ④地産地消の代表格とされる農産物直売所農産物は本当に安全か…? ⑤スーパー等における各種トレーサビリティシステム(インフォーマットシステム(イトヨーカドー等))
15	全農やまなし 直売施設の取組事例視察研修
16	視察研修内容のレポート作成
17	①各種トレーサビリティシステムの特徴と利用的視点からの解析 ②各種トレーサビリティシステムは市場流通限定型か市場外流通システム対応型か? ③発注のリードタイムの長さとの生産者の出荷リスク
18	①システム開発の割高性と価格決定に向けた費用負担のあり方 ②システム開発に向けた公的バックアップ等の必要性 ③流通情報の必要性 ④情報管理は一元管理か分散型管理手法型かどちらがベターか? ⑤データ入力時のインターフェースとインフラ整備のあり方 ⑥第三者チェック機能の必要性
19	食品偽装の歴史
20	試験

評価方法基準	レポート課題により評価
--------	-------------

テキスト参考書	食品流通(実教出版株式会社)
---------	----------------

科目名	マーケティング演習	単位数	2	時間	60
対象学生	専攻科 1年	担当者	澤 伸恭 大学教授 中小企業診断士		
ねらい	農業経営に必要なマーケティングの基礎を学ぶ。				
到達目標	消費動向の把握とそれに基づく販売戦略のための分析の手法を理解する。				

回数	授業計画
1(5/17) am	甲府市古谷葡萄園の見学(am10時自治会館横の加工施設見学)
2(7/5) am	白州の法人(山の水農場等)の見学
3(8/21) am	御坂の法人(大型観光桃+いちご園) 見学
4(9/6) am	県内の法人見学(峡東方面)
5(9/20) am	県内の法人見学(峡西方面)
6(9/29) pm	マーケティングの基本講義
7(10/13) am	マーケティングの基本講義
8(11/1) am	県内の法人見学(峡北方面)
9(11/29) am	県内の法人見学(峡東方面)
10(2/6) pm	mirai フォーラム発表会見学
評価方法	レポート等により評価する。

テキスト・	ぐるっと！マーケティング(株式会社すばる舎リンクージ) 事例でわかる食と農のマーケティング入門(松田恭子@3520きんざい)
-------	---

科目名	法人経営論 講義	単位数	2	時間	30
対象学生	専攻科 1年	担当者	加藤 肇 元校長 元専門技術員（普及方法、農村振興、花き）		
ねらい	農業生産法人の設立、経営に関する基礎を学ぶ。				
到達目標	農業生産法人の設立方法や運営方法、経営に必要な知識を理解する。				

回数	授業計画
1(5/31) am	Miraiプロジェクトキックオフ(5/18or5/25夕方)の相談・確認
2(5/31) pm	Miraiプロジェクトキックオフの振替
3(7/5) pm	法人見学後の課題の洗い出し。解決策の検討
4(7/26) pm	商品化の実際 palor北の杜
5(8/21) pm	法人見学後の課題の洗い出し。解決策の検討
6(9/6) pm	法人見学後の課題の洗い出し。解決策の検討
7(9/20) pm	法人見学後の課題の洗い出し。解決策の検討
8(11/1)	法人見学後の課題の洗い出し。解決策の検討
9(11/29)	法人見学後の課題の洗い出し。解決策の検討
10(2/6) am	Miraiプロジェクト発表会

評価方法・基準	試験、レポート等により評価する。
---------	------------------

テキスト・参考書	(Q & A) 農業法人化マニュアル (農業会議所)
----------	----------------------------

科目名	アグリビジネス論 I 講義	単位数	3	時間	45
対象学生	専攻科 1年	担当者	相川 勝六 元専門技術員（経営）		
ねらい	農業を中心とした様々な事業についての基本的な知識を習得する。				
到達目標	農業生産を基幹としつつ、加工、流通、販売、農村環境を活用した事業などにより、新たなビジネスを展開していく手法について理解する。				
回数	授業計画				
1	ビジネスモデルの基礎～5つの基本ブロックで構成～				
2	アイデアコンセプトの考え方～SWOT解析・戦略的思考～ アイデア①SWOT分析で自分と周辺環境をチェック ②SWOT分析を組み合わせる～クロスSWOT分析				
3	アイデアコンセプトの考え方～SWOT解析・戦略的思考～ アイデア③アイデアを出すときのコツ～ブレイン・ストーミング～ ④アイデアの評価・絞り込み				
4	提案の背景①「提案の背景」は4パターンに分類される ②自分の現状把握と課題の洗い出し				
5	提案の背景③3C分析～身近なビジネス環境を分析				
6	事業コンセプト～「どんな事業を行うのか」シンプルにまとめる				
7	事業理念・ビジョン～計画書の説得力の有無は事業理念とビジョン次第				
8	商品・サービスの具体化の仕方 ①商品サービスを具体化する時の基本的な考え方				
9	商品・サービスの具体化の仕方 ②「誰に」「何を」提供するのか				
10	商品・サービスの具体化の仕方 ③セグメンテーションとターゲティング				
11	商品開発の考え方				
12	商品開発の法的規制				
13	商品開発の実際				
14	商品開発の実際				
15	商品開発の実際				
評価方法・ 基準	試験、レポート等により評価する。				
テキスト・ 参考書	[ジェイソン流お金の増やし方] ピア@1430 マンガでわかる事業計画書の作り方（西東社） ビジネスモデルの教本（インプレス）				

科目名	農業法人派遣研修 実習	単位数	9	時間	270
対象学生	専攻科 1年	担当者	農業法人		
ねらい	農業生産法人の運営に必要な知識を学ぶ。				
到達目標	農業生産法人において実習し、生産技術、流通、販売等の実際や経営管理手法などの概要を理解する。				

分野	授業内容
オリエンテーション	派遣研修の実施方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 派遣先の事前調査の方法 ・ 派遣研修で学びたい内容の明確化 ・ 報告書のまとめ方
現地研修	農業法人の経営現場の実際 <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営のコンセプト、法人化への契機、経営形態、経営内容の実際 ・ 栽培で実践している先端的な技術、生産方法 ・ 販売戦略、販売方法 ・ 生産計画、生産管理、労務管理等の経営管理の実際
結果取りまとめ	研修報告の作成の実際 <ul style="list-style-type: none"> ・ 派遣先法人の概要 ・ 派遣先の経営内容 ・ 実習で学んだ内容 ・ 派遣先の法人経営について感じたこと

評価方法・基準	研修報告を基準に評価する。
---------	---------------

テキスト・参考書	
----------	--

科目名	起業理念 演習	単位数	1	時間	30
対象学生	専攻科 1年	担当者	入倉 利也 情報システム支援会社社長		
ねらい	起業する際に必要な基礎知識を学ぶ。				
到達目標	起業理念の考え方、事業計画の作成法など、経営者に必要な基礎知識を理解する。				

回数	授業計画
1	企業についての環境分析、SWOT分析
2	理念の考え方、ビジョンの設定
3	理念作成の為、自分自身をSWOT分析
4	ビジョン（将来目標）作成の基本戦略を考える
5	起業理念の作成について 理念の作り方①
6	起業理念の作成について 理念の作り方②
7	理念→事業コンセプト→ビジョン 事業計画の作成について①
8	理念→事業コンセプト→ビジョン 事業計画の作成について②
9	理念を元に事業計画の作成①
10	理念を元に事業計画の作成②
11	理念を元に事業計画の作成③
12	理念を元に事業計画の作成④
13	理念を元に販売戦略 事業計画書作成①
14	理念を元に販売戦略 事業計画書作成②
15	理念を元に販売戦略、事業計画書の作成①
16	理念を元に販売戦略、事業計画書の作成②
17	理念、販売戦略、事業計画書の発表準備①
18	理念、販売戦略、事業計画書の発表準備②
19	理念、販売戦略、事業計画書の発表①
20	理念、販売戦略、事業計画書の発表②

評価方法・基準	試験、レポート等により評価する。
---------	------------------

テキスト・参考書	
----------	--

科目名	果樹栽培各論Ⅰ 講義	単位数	3	時間	45
対象学生	専攻科 2年	担当者	猪股 雅人 元果樹試験場長（果樹）		
ねらい	ブドウの高品質果実生産に必要な専門的な知識を習得する。				
到達目標	高品質なブドウを安定生産するための品種ごとの専門知識を学ぶとともに、省力化・低コスト栽培など近年開発された先進技術を理解する。				

回数	授業計画
1	栽培の現状と考え方
2	生育の特性と主要作業（年間の生育と作業ポイント）
3	品種（台木）の分類と特性
4	苗の増殖法
5	栽培管理の実際 開園に向けて
6	仕立て方法
7	剪定方法
8	休眠期から発芽期の管理
9	開花結実期の管理
10	果粒肥大期の管理
11	収穫期の管理
12	収穫と出荷
13	病虫害防除
14	農薬の適正利用と飛散防止対策
15	施肥と土づくり
16	灌水
17	施設栽培（加温ハウス）
18	施設栽培（無加温・雨よけ等）
19	品種別管理のポイント（生食用）
20	品種別管理のポイント（醸造用）
21	植物生長調節剤の効果
22	植物生長調節剤の使用法
23	気象災害
24	災害の対策
25	生育・生理障害と対策（欠乏症と過剰症）
26	（生理障害）
27	鳥獣害対策
28	栽培の優良事例
29	総括学習
30	テスト

評価方法・基準	試験・レポート等により評価する。
---------	------------------

テキスト・参考書	葡萄の郷から～おいしいブドウのできるまで～（山梨県果樹園芸会）
----------	---------------------------------

科目名	果樹栽培各論Ⅱ 講義	単位数	3	時間	45
対象学生	専攻科 2年	担当者	猪股 雅人 元果樹試験場長（果樹）		
ねらい	モモの高品質果実生産に必要な専門的な知識を学ぶ。				
到達目標	高品質なモモを生産するための品種ごとの専門知識を学ぶとともに、省力化・低コスト栽培など近年開発された先進技術を理解する。				

回数	授業計画
1	栽培の歴史と現状
2	生育の特性と主要作業（年間の生育と作業ポイント）
3	品種（台木）の分類と特性
4	苗の増殖法
5	栽培管理の実際 開園に向けての留意点
6	栽培管理の実際 仕立て方法（開心自然形、主幹形、棚、Y字他）
7	栽培管理の実際 剪定方法（樹相診断）
8	栽培管理の実際 休眠期から発芽期の管理
9	栽培管理の実際 開花結実期の管理
10	栽培管理の実際 果粒肥大期の管理
11	栽培管理の実際 収穫期の管理
12	栽培管理の実際 収穫と出荷
13	栽培管理の実際 病虫害防除
14	栽培管理の実際 農薬の適正利用と飛散防止対策
15	栽培管理の実際 施肥と土作り
16	栽培管理の実際 灌水
17	施設栽培（加温ハウス）
18	（平棚、Y字等）
19	品種別の管理ポイント（早生種、中性種、晩生種）
20	（ネクタリン）
21	果実袋の種類と使用法
22	反射マルチの種類と使用法
23	気象災害
24	災害の対策
25	生育・生理障害と対策（欠乏症と過剰症）
26	（生理障害）
27	鳥獣害対策
28	栽培の優良事例
29	総括学習
30	テスト

評価方法・基準	試験・レポート、発表等により評価する。
---------	---------------------

テキスト・参考書	桃の郷から（山梨県果樹園芸会）
----------	-----------------

科目名	果樹栽培各論Ⅲ 講義	単位数	3	時間	45
対象学生	専攻科 2年	担当者	深澤 眞悟 元農業系高校校長		
ねらい	スモモ、オウトウの高品質果実生産に必要な専門的な知識を学ぶ。				
到達目標	スモモとオウトウなどの高品質生産と省力化・低コスト栽培などについて学ぶ。現状と諸課題について理解する。				
回数	授業計画				
1	スモモの来歴と特性 自然条件基準				
2	スモモ産地視察 南アルプス市 樹相診断				
3	スモモ生産概況				
4	スモモの安定生産 生産地環境 自家不和合性 S遺伝子型 品種特性 受精 受粉作業 栄養 おもな病害虫と防除				
5	スモモ産地視察 南アルプス市 樹相診断				
6	スモモの作業を理解する 3～4月 スモモとオウトウの花粉確保と人工授粉				
7	スモモの作業を理解する 5～6月				
8	スモモ産地視察 南アルプス市 樹相診断				
9	スモモの作業を理解する 7～9月				
10	スモモの作業を理解する 9～11月				
11	スモモの作業を理解する 12～2月 スモモ・オウトウの苗木の育成方法				
12	オウトウの来歴と特性 自然条件基準				
13	オウトウ作業を理解する 品種 自家不和合性 S遺伝子型 品種特性				
14	オウトウの仕立て方法 おもな病害虫と防除				
15	総括学習 試験				
評価方法・ 基準	出席、試験、レポート等により評価する。				
テキスト・ 参考書	おいしいオウトウ栽培（農文協）、スモモ栽培利用加工（創造社 新谷勝広@1400）				

科目名	醸造用ブドウ栽培論(2) 演習	単位数	1	時間	30
対象学生	専攻科 2年	担当者	猪股 雅人 元果樹試験場長(果樹)		
ねらい	醸造用ブドウ栽培の基礎を習得する。				
到達目標	醸造用ブドウの品種特性と栽培技術について理解する。				

回数	授業計画
1	栽培の現状と考え方
2	生育の特性と主要作業(年間の生育と作業ポイント)
3	品種(台木)の分類と特性
4	栽培管理の実際 開園に向けて
5	仕立て方法(垣根・平棚)
6	剪定方法(垣根・平棚)
7	休眠期から発芽期の管理
8	開花結実期の管理
9	果粒肥大期の管理
10	収穫期の管理
11	収穫と出荷
12	病虫害防除
13	施肥と土づくり・灌水
14	品種別の管理のポイント
15	植物生育調整剤の効果と使用方法
16	気象災害と対策
17	生理障害と対策(欠乏症と過剰症)
18	栽培事例
19	総括学習
20	テスト

評価方法・基準	試験・レポート等により評価する
---------	-----------------

テキスト・参考書	醸造用ブドウ栽培指針 醸造用ぶどう技術情報交換会
----------	--------------------------

科目名	地域先進技術(2) 事例研究	単位数	2	時間	60
対象学生	専攻科 2年	担当者	保坂(普及指導員)、耕地課職員		
ねらい	県内各地域における産地化の取り組み等に関する知識を習得する。				
到達目標	各種の事業を導入した先進技術の導入事例や産地化の事例から、その手法について理解する。				

回数	授業計画
1	農村地域の総合開発事業①(現地調査と討議)
2	農村地域の総合開発事業②(現地調査と討議)
3	農村地域の総合開発事業③(現地調査と討議)
4	農村地域の総合開発事業④(現地調査と討議)
5	農村地域の総合開発事業⑤(現地調査と討議)
6	農村地域の総合開発事業⑥(現地調査と討議)
7	農村地域の総合開発事業⑦(現地調査と討議)
8	農村地域の総合開発事業⑧(現地調査と討議)
9	畑地かんがい事業等用水の確保の取り組み①(現地調査と討議)
10	畑地かんがい事業等用水の確保の取り組み②(現地調査と討議)
11	畑地かんがい事業等用水の確保の取り組み③(現地調査と討議)
12	畑地かんがい事業等用水の確保の取り組み④(現地調査と討議)
13	畑地かんがい事業等用水の確保の取り組み⑤(現地調査と討議)
14	畑地かんがい事業等用水の確保の取り組み⑥(現地調査と討議)
15	農業集落排水事業①(現地調査と討議)
16	農業集落排水事業②(現地調査と討議)
17	農業集落排水事業③(現地調査と討議)
18	農業集落排水事業④(現地調査と討議)
19	農業集落排水事業⑤(現地調査と討議)
20	農業集落排水事業⑥(現地調査と討議)
21	果樹園の基盤整備の事例①(現地調査と討議)
22	果樹園の基盤整備の事例②(現地調査と討議)
23	果樹園の基盤整備の事例③(現地調査と討議)
24	果樹園の基盤整備の事例④(現地調査と討議)
25	環境保全に配慮した新しい病害虫防除法①(現地調査と討議)
26	環境保全に配慮した新しい病害虫防除法②(現地調査と討議)
27	環境保全に配慮した新しい病害虫防除法③(現地調査と討議)
28	環境保全に配慮した新しい病害虫防除法④(現地調査と討議)
29	環境保全に配慮した新しい病害虫防除法⑤(現地調査と討議)
30	環境保全に配慮した新しい病害虫防除法⑥(現地調査と討議)
31	環境保全に配慮した新しい病害虫防除法⑦(現地調査と討議)
32	環境保全に配慮した新しい病害虫防除法⑧(現地調査と討議)
33	農協営農指導活動①(現地調査と討議)
34	農協営農指導活動②(現地調査と討議)
35	農協営農指導活動③(現地調査と討議)
36	農協営農指導活動④(現地調査と討議)
37	農産物流通加工の新しい取り組み①(現地調査と討議)
38	農産物流通加工の新しい取り組み②(現地調査と討議)
39	農産物流通加工の新しい取り組み③(現地調査と討議)
40	農産物流通加工の新しい取り組み④(現地調査と討議)

評価方法・基準	レポートにより評価する。
---------	--------------

テキスト・参考書	プリント
----------	------

科目名	植物増殖(2) 演習	単位数	1	時間	30
対象学生	専攻科 2年	担当者	猪股 雅人 元果樹試験場長(果樹)		
ねらい	生物工学的手法を活用した果樹の苗木に関する知識を学ぶ。				
到達目標	高品質果実の安定生産のための苗生産について理解する。				

回数	授業計画
1	苗木育成の基礎知識 接木法
2	挿し木法
3	株分け法、取り木法、盛り土法
4	高接ぎ法
5	実生法
6	苗木繁殖とホルモン物質
7	ブドウ苗木の繁殖法 (挿し木・接木)
8	ブドウの台木特性
9	核果類の繁殖法(共通)
10	モモ、スモモ苗木の繁殖法
11	オウトウ苗木の繁殖法
12	ウメ、アンズ苗木の繁殖法
13	ナシ(和、洋)苗木の繁殖法
14	カキ苗木の繁殖法
15	リンゴ苗木の繁殖法
16	中間台木を利用した低樹高栽培
17	カンキツ苗木の繁殖法
18	熱帯果樹の繁殖法
19	総括学習
20	テスト

評価方法・基準	試験・レポート等により評価する。
---------	------------------

テキスト・参考書	果樹の接ぎ木・挿し木・とり木(農文協) 資料配付
----------	--------------------------

科目名	病虫害防除(2) 演習	単位数	1	時間	30
対象学生	専攻科 2年	担当者	古屋 栄 元果樹試験場長（果樹、土壌、栄養生理）		
ねらい	自然生態系や環境に対応した安全な防除方法を学ぶとともに、県内で問題となった病虫害に対する地域の取り組み事例を学ぶ。				
到達目標	環境保全やポジティブリスト制度への対応を基本とし、県内で問題となっている病虫害に対する、地域の取り組み事例に学び、より効果的な防除法を検討する。				

回数	授業計画
1	最近の病虫害発生状況と防除の実態 防除の考え方と手段(病虫害発生の三要素)、環境条件・樹体・病虫害の制御
2	上手な薬剤の選び方、剤型の特徴 薬剤散布のタイミング
3	農業を使用する際に必要な環境への配慮 農薬残留
4	農薬散布と精度・果実品質との関係、薬剤耐性菌・抵抗性病虫害対策 降雨と病虫害防除のポイント、ブドウべと病の発生状況と防除の問題点
5	農薬取締法の詳細、農薬散布時の順守事項
6	防除の効果を上げるには ①展着剤の種類と使用法 ②動噴とSSの効果的活用、噴口の種類と防除効果
7	ポジティブリスト制度の内容とその対応 ポジティブリスト制度に対応する技術対策、 飛散防止対策、農薬の選び方、農薬依存からの脱却
8	果樹防除暦の上手な使い方 病虫害発生予察について
9	化学合成農薬以外の防除法 交信攪乱剤、生物農薬・天敵農薬・微生物農薬、果実袋
10	試験
11	果樹病虫害防除に関する試験演習①
12	果樹病虫害防除に関する試験演習②
13	JA営農指導員資格試験（防除）対策
14	JA営農指導員資格試験（防除）対策
15	JA営農指導員資格試験（防除）対策
16	JA営農指導員資格試験（防除）対策
17	JA営農指導員資格試験（防除）対策
18	JA営農指導員資格試験（防除）対策
19	JA営農指導員資格試験（防除）対策
20	試験

評価方法・基準	試験により評価する。
---------	------------

テキスト・参考書	プリント資料
----------	--------

科目名	土壌肥料(2) 演習	単位数	1	時間	30
対象学生	専攻科 2年	担当者	渡辺 実 元研究員(土壌肥料)		
ねらい	ブドウ・モモ栽培を中心とした生産現場における土づくり対策や肥培管理対策・土壌診断手法等について演習・研究する。				
到達目標	山梨県を中心とした果樹園土壌の現状を検証・理解し、効率的な土づくり対策や肥培管理技術・土壌診断手法をマスターする。				

回数	授業計画
1	○土壌・肥料学の復習 ①主要果樹園の土壌感応性 ②本邦果樹園土壌の成圃化過程と土壌管理方法<本邦の土壌分布様式と分布割合>
2	①西日本における樹園地の土壌分布 ②土壌群別特性と改良対策 ③樹園地の成圃化過程と土壌の理化学性変化 ④土壌の種類と土壌断面
3	○土壌・肥料学の復習-II ①土壌の種類別果樹の栽培面積 ②傾斜度別果樹園の分布割合 ③果樹の品目別土壌分布割合
4	①土の粒子と区分 ②土壌の団粒と単粒構造 ③土壌の構造と土壌硬度の関係 ④土壌孔劇隙と土壌生物 ⑤果樹園土壌としての物理的生産力要因 ⑥土壌硬度と根伸長の関係 ⑦土壌を構成する粘土鉱物 ⑧土壌構造と土中の水、空気等の移動 ⑨土壌孔隙と保水の関係 ⑩土壌水分の特性 ⑪土壌水分の測定と果樹の水管理
5	○土壌・肥料学の復習-III ①果樹園の生産力要因と土壌の理化学性・固相率と土壌硬度・火山灰土壌と非火山灰土壌の深さ別固相率変化・ブドウ園土壌における土壌水分の季節変動
6	①土壌pH変化と果樹の収量変化 ②施肥量と果樹の収量変化 ③ブドウ園土壌の根群分布と硝酸態窒素の発現 ④緑肥及び化成肥料の連用が果樹の収量に与える影響 ⑤火山灰土壌が果樹栽培に不適地土壌と言われる理由とその考察
7	①関東・東山地域に多く分布する火山灰土壌と果樹栽培の適応性 ②火山灰土壌に栽培される果樹生育の特徴 ③火山灰土壌の一般的化学的特性と果樹栽培 ④火山灰土壌及び非火山灰土壌における硝酸態窒素の季節変動と果樹の生育・収量の関係
8	①火山灰土壌と非火山灰土壌における根群分布量の季節変化 ②果樹園土壌の管理法の種類と管理特性・広義の土壌管理と具体的管理手法 ③清耕栽培の実際と問題点 ④マルチ栽培の実際と問題点 ⑤各種土壌管理方法と地温の季節変動 ⑥土壌管理方法と土壌養分変化
9	①果樹の水分管理の必要性 ②果樹園における干害と水分管理 ③果樹園における干害対策 ④土壌の種類と水管理
10	①果樹栽培と湿害現象(褐色森林土壌<区画整理ほ場ブルーベリー栽培>)・湿害発生と土壌硬度・ブルーベリーほ場における栽培期間中の停滞水発生状況調査
11	①果樹生産の立場からの土壌水分管理 ②果樹の生育ステージ別土壌水分管理
12	①果樹の耐干性と耐湿性の強弱 ②落葉果樹の成木ステージ別耐干性・耐湿性変化 ③土壌水分変化と生理障害の発生とそのメカニズム
13	○ブドウの養分吸収と施肥管理 ①養分吸収特性と時期別養分吸収特性 ②窒素の吸収特性とその働き ③リン酸の吸収特性と働き ④カリウムの吸収特性と働き
14	①カルシウム吸収特性と働き ②マグネシウム吸収特性と働き ③無核果のためのジベレリン処理と養分吸収特性変化 ④養分の過不足とブドウの生育への影響 ⑤ブドウ園土壌のカリウム過剰発生原因と施肥管理及び果実品質への影響
15	○ブドウの生理障害とその対策 ○ブドウの栄養診断と樹相診断 ①ブドウの葉中養分含有量と欠乏症発生の関係 ②ブドウのマグネシウム欠乏発生要因と対策
16	①ブドウのホウ素欠乏症発生原因 ②ブドウのホウ素欠乏症状と対策 ③葉分析並びに樹相診断による樹体中の栄養状態把握 ④モモの樹体特性(モモの樹勢の1年間の生長周期)
17	○モモの養分吸収特性と施肥管理 ①モモの栄養生理特性 ②モモの気象等立地特性と栽培管理 ③モモの部位別養分吸収特性と養分吸収量 ④モモの生産量と施肥量の関係
18	①モモの主産地における施肥量変化 ②モモの施肥量と施肥回数 ③使用する肥料の種類を選定 ④モモの肥培管理と果実品質変化 ⑤モモの生理障害について
19	○土壌診断と処方箋作成の考え方 ①EC利用による施肥管理(施肥量の決め方について) ②土壌ECと土壌中硝酸態窒素含量の関係 ③土壌ECによる施肥量の調整判断 ④硝酸態窒素量と施肥量の調整
20	①土壌pHと作物生育 ②土壌pHと土壌塩基量(me)の関係 ③土壌溶液pHと土壌溶液中イオン組成の関係 ④土壌pHと作物の適性土壌pH ⑤土壌の塩基バランスと作物生育 ⑥作物養分間の相助=拮抗関係 ⑦土壌改善対策の基本的考え方 ⑧土壌中養分含量と作物の養分過剰・欠乏症

評価方法・基準	レポート課題により評価
---------	-------------

テキスト・参考書	よくわかる土と肥料のハンドブック 肥料・施肥編(農文協) よくわかる土と肥料のハンドブック 土壌改良編(農文協)
----------	---

科目名	環境保全型農業(2) 講義	単位数	1	時間	15
対象学生	専攻科 2年	担当者	元農業大学校長 元専門技術員(花)		
		清水 靖			
ねらい	環境にやさしい環境保全型農業の導入に必要な知識を学ぶ。				
到達目標	持続的農業や代替農業、有機農業の考え方を理解する。				

回数	授業計画
1	日本における環境保全型農業のとらえ方 ・環境保全型農業の関連法律とその内容
2	持続可能性とは何か?① ・持続可能性の意味と発生の経過 ・地球環境生態系の現状に対する認識
3	持続可能性とは何か?② ・社会システムの持続可能性 ・人類社会の持続可能性
4	持続可能性とは何か?③ ・企業の持続可能性
5	社会を支える「持続可能な農業」の展開① ・「持続可能な農業」の特質
6	社会を支える「持続可能な農業」の展開② ・模索・定着する「持続可能な農業」
7	有機農業と自然農法と自然共生農業の比較
8	有機農業と代替農業・循環型農業の比較
9	山梨県における環境保全型農業施策
10	試験

評価方法・基準	試験・レポートの作成・提出
---------	---------------

テキスト・参考書	
----------	--

科目名	農業法規(2) 講義	単位数	1	時間	15
対象学生	専攻科 2年	担当者	元果樹試験場長 (果樹・土壌・栄養生理)		
		古屋 栄			
ねらい	農地法と生活に関わる税金についての知識を習得する。				
到達目標	現代農業の高度化と多様化に対応するため、農地法と生活に関わる税金について理解する。				

回数	授業計画
1	農地法について① ・売買関係
2	農地法について② ・転用関係
3	農地法について③ ・転用関係
4	農地法について④ ・貸借関係
5	農地法について⑤ ・貸借関係
6	農地法について⑥ ・相続・贈与関係
7	生活に関わる税金(所得税、社会保険税、住民税)① ・登記関係
8	生活に関わる税金(所得税、社会保険税、住民税)② ・登記関係
9	試験
10	試験

評価方法・基準	試験・レポート等により評価する。
---------	------------------

テキスト・参考書	全国農業会議所資料(無料)、プリント資料
----------	----------------------

科目名	先端技術実習(2) 実習	単位数	11	時間	330
対象学生	専攻科 2年	担当者	果樹試験場研究員		
ねらい	農業生産の現場で活用される先進的な栽培技術や技術開発への取り組みについて学ぶ。				
到達目標	果樹試験場での実習を通し、試験場の各部・科で開発・実証された先進的な栽培技術を習得するとともに、プロジェクト課題を設定し、調査、取りまとめを行う。				

分野	授業内容
オリエンテーション	果樹試験場における2年目の実習の実施方法 <ul style="list-style-type: none"> ・各研究室の今年度の試験研究内容の確認 ・所属している研究室に係わる課題の抽出 ・抽出した課題に沿って学習する内容を確認 ・1年次に実施したプロジェクト研究のフォロー学習の進め方
実習	果樹試験場における実習の実際 <ul style="list-style-type: none"> ・生育ステージに応じた栽培技術 ・試験研究に係る専門知識と課題解決手法 ・課題の設定、試験設計の立て方 ・調査の仕方とタイミング ・試験計画の進行管理 ・調査データの管理と処理方法
取りまとめ	研修報告の作成の実際 <ul style="list-style-type: none"> ・各自の実習内容の整理 ・成果レポートの作成 ・成果発表会(12/2)における発表 ・卒業論文集に収録する卒論整理

評価方法・基準	研修報告を基準に評価する。
---------	---------------

テキスト・参考書	
----------	--

科目名	販売促進(2) 演習	単位数	2	時間	60
対象学生	専攻科 2年	担当者	澤 伸恭 大学特任教授、中小企業診断士		
ねらい	高収益農業の実現に向けた、流通の基礎知識と販売戦略の作成方法について学ぶ。				
到達目標	商品開発や販売促進のための取り組みについて、授業と流通現場の視察をとおして理解する。				
1(4/19) am	Miraiプロジェクトの紹介、クラウドファンディングについて				
2(4/19) pm	Miraiプロジェクト参加の企業の動画確認し、参加希望確認				
3(4/24) am	Miraiプロジェクトの相談（企業とのマッチング）				
4(4/24) pm	企業とのマッチング（4/25マッチングの振替）				
5(5/17) pm	甲府市古谷葡萄園の課題の洗い出しと解決策の検討				
6(5/31) am	Miraiプロジェクトキックオフ(5/18or5/25夕方) の相談・確認				
7(5/31) pm	Miraiプロジェクトキックオフの振替				
8(6/12) am	クラウドファンディングの説明				
9(6/12) pm	クラウドファンディングのページづくり・事業計画（パソコン持参）				
10(6/28) am	クラウドファンディングのページづくり（パソコン持参）				
11(6/28) pm	クラウドファンディングのページづくり・審査（パソコン持参）				
12(7/5) pm	法人見学後の課題の洗い出し。解決策の検討				
13(7/10) am	クラウドファンディング、Miraiプロジェクトの振り返り（パソコン持参）				
14(7/10) pm	クラウドファンディング、Miraiプロジェクトの中間発表（パソコン持参）				
15(8/21)	法人見学後の課題の洗い出し。解決策の検討Miraiプロジェクト、クラウドファンディング				
16(9/6)	法人見学後の課題の洗い出し。解決策の検討				
17(9/20)	法人見学後の課題の洗い出し。解決策の検討				
18(11/1)	法人見学後の課題の洗い出し。解決策の検討				
19(11/29)	法人見学後の課題の洗い出し。解決策の検討				
20(2/6)	Miraiプロジェクト発表会参加				
評価方法	レポート等により評価する。				
テキスト・参考書	手に取るように小売・流通がわかる本（株式会社かんき出版） マーケティング見るだけノート（宝島社）				

科目名	農業経営分析 演習	単位数	1	時間	30
対象学生	専攻科 2年	担当者	相川 勝六 元専門技術員（農業経営）		
ねらい	経営分析の手法と財務諸表を経営的に捉える見方を学ぶ。				
到達目標	高収益農業の実現に向けて必要な、経営分析の方法について理解する。				

回数	授業計画
1	農業経営と農業生産管理 経営管理と分析
2	経営者の機能と農業経営形態 個人事業と法人経営の経営評価の違い
3	損益計算書、貸借対照表 1～3
4	貸借対照表から始めよう ① 1～6
5	貸借対照表から始めよう ② 7～12
6	農家と農業経営、決算書と税務申告手続き
7	損益計算書はここがツボ 1～3
8	損益計算書はここがツボ 4～6
9	比較項目の意味と基準、収益性、効率性 キャッシュフロー計算書を読みこなす 1～6
10	安全性、生産性、原価計算、技術評価と経営者能力評価 キャッシュフロー計算書を読みこなす 7～12
11	決算書を読んでみよう 1～4
12	経営分析の基礎 分析の基礎 1～4
13	作物別のコスト分析表の作成 収益性
14	損益分岐点分析の理論と計算表作成 生産性
15	データ入力、分析データの評価とコメント作成 安全性と資金繰り 1～8
16	総合評価 成長性
17	分析データの評価とコメント作成 分岐点分析
18	総合評価 事例分析
19	事例分析
20	事例分析

評価方法・基準	試験、レポート等により評価する。
---------	------------------

テキスト・参考書	決算書はここだけ読もう（年次版）（株式会社弘文堂） 「ジェイソン流お金の増やし方」ピア@1430
----------	---

科目名	アグリビジネス論Ⅱ 演習	単位数	2	時間	60
対象学生	専攻科 2年	担当者	元農業大学校校長、元専門技術員 (普及方法・農村振興・花)		
		加藤 肇			
ねらい	経営感覚をもった将来の担い手となるために必要な知識を学ぶ。				
到達目標	農業生産を基幹としつつ、加工、流通、販売、農村環境を活用した事業などにより、新たなビジネスを展開していく手法について理解する。				

回数	授業計画
1	6次産業化に向けた事例調査（甲府市 古谷農園）
2	商品の検討（パーラー北の杜）①
3	商品の検討（パーラー北の杜）②
4	6次産業化に向けた事例調査（白州町 山の水農場）
5	商品の検討（パーラー北の杜）③
6	商品の検討（パーラー北の杜）④
7	販売促進に向けた事例調査（御坂町 観光農園）
8	ビジネスモデルとマーケティング 販売戦略は「4つのP」で考える” Product、Price”
9	ビジネスモデルとマーケティング 販売戦略は「4つのP」で考える” Place”
10	商品の検討（パーラー北の杜）⑤
11	6次産業化に向けた事例調査（峡東地域）
12	ビジネスモデルとマーケティング 販売戦略は「4つのP」で考える” Promotion”
13	6次産業化に向けた事例調査（峡西地域）
14	商品の検討（パーラー北の杜）⑥
15	商品の検討（パーラー北の杜）⑦
16	商品の検討（パーラー北の杜）⑧
17	商品の検討（パーラー北の杜）⑨
18	6次産業化に向けた事例調査（峡北地域）
19	6次産業化に向けた事例調査（峡東地域）
20	まとめ

評価方法・ 基準	試験・レポート等により評価する。
-------------	------------------

テキスト・ 参考書	マンガでわかる事業計画書の作り方（西東社） ビジネスモデルの教本（インプレス）
--------------	--

科目名	異業種派遣研修 演習	単位数	6	時間	180
対象学生	専攻科 2年	担当者	流通業者、農業法人等		
ねらい	アグリビジネスの展開に必要な生産計画・販売戦略など、経営管理手法の基礎知識や顧客対応などを学ぶ。				
到達目標	アグリビジネスを実践するには、農業生産以外の幅広い知識と広い視野が不可欠なため、他産業における生産・販売管理などについて、実習を通して理解する。				

分野	授業内容
オリエンテーション	派遣研修の実施方法 <ul style="list-style-type: none"> ・派遣先の事前調査の方法 ・派遣研修で学びたい内容の明確化 ・報告書のまとめ方
現地研修	実習先の経営現場の実際 <ul style="list-style-type: none"> ・研修先の経営理念、経営形態・経営内容、特徴等 ・販売方法、販売戦略等の実際 ・労務管理・物品管理等、経営的な管理の方法 ・ビジネスプランの作成に参考となる資料の収集
取りまとめ	研修報告作成の実際 <ul style="list-style-type: none"> ・派遣先の概要 ・派遣先の経営内容、特徴的な取り組み内容 ・実習で学んだ内容 ・派遣先の法人経営について感じたこと

評価方法・基準	研修報告を基準に評価する。
---------	---------------

テキスト・参考書	
----------	--

科目名	ビジネスプラン 演習	単位数	6	時間	180
対象学生	専攻科 2年	担当者	元農業大学校長・元専門技術員 (普及方法)		
		横内 正史			
		玉川真奈美	栄養士・フードコーディネーター		
		加藤肇	元農業大学校長、元専門技術員 (普及方法・農村振興・花)		
ねらい	生産法人をモデルとし、生産から流通、販売までを一体的にとらえたアグリビジネスプランの作成方法を学ぶ。				
到達目標	農業生産法人等をモデルとして、その法人における生産上、または経営上問題となっている課題を抽出し、これらを改善するための計画の作成方法を理解する。				
分野	授業内容				
課題抽出と計画作成	ビジネスプランのテーマ設定 ・ 農業生産法人派遣研修と異業種派遣研修からの課題の発掘 ・ 課題解決のために必要な調査、結果の分析方法 ・ テーマと実施計画の策定)				
調査研究の実施	対象法人等への調査の実施 ・ 課題解決に向けての資料収集 ・ モデルとする法人を対象とした調査 ・ 収集した資料、調査結果のまとめと検討 ・ 調査内容に関するグループ討議				
まとめ、論文作成	ビジネスプラン作成の実際 ・ 調査データの集計 ・ 結果と考察のまとめ方の実際 ・ プレゼンテーションソフトを使った発表用資料の作成と発表 ・ 卒業論文の作成				
評価方法・基準	卒業論文で評価する。				
テキスト・参考書	マンガでわかる事業計画書の作り方 (西東社) ビジネスモデルの教本 (インプレス)				